

札幌市がん対策 推進プラン

〔概要版〕

2017-2023(平成29年~35年度)



SAPPORO

札幌市

計画の概要

策定の趣旨

札幌市はこれまで、がん対策としてがん検診受診率向上に向けた普及啓発とがん検診を受けやすい環境整備を支援してきました。しかし、今後想定されるがん罹患患者数及び死亡者数の増加に対応するためには、がん患者等への支援も含めた総合的ながん対策が必要です。そこで、がんによる死亡者の減少、がん患者等の苦痛の軽減を目的とした総合的ながん対策を推進するため、本プランを策定しました。



計画期間

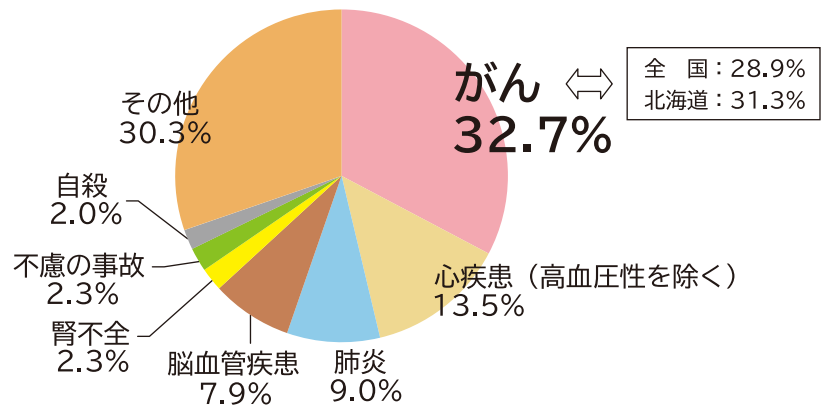
平成29年度から平成35年度までの7年間

がんを取りまく現状

死因別死亡割合

札幌市民の死因では、がんが最も多く、死因の32.7%を占めます。

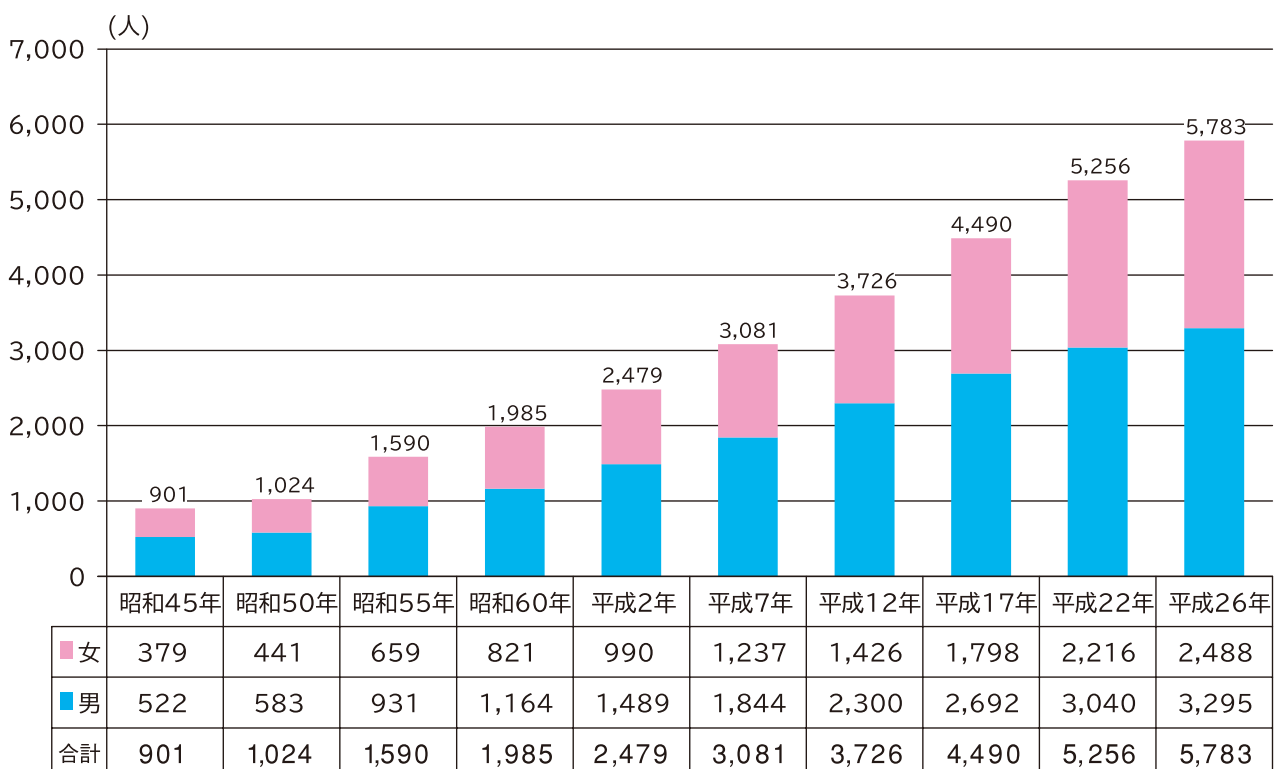
この割合は全国、北海道と比較しても高い割合です。



出典：人口動態調査（平成26年）

がんによる死亡者数推移

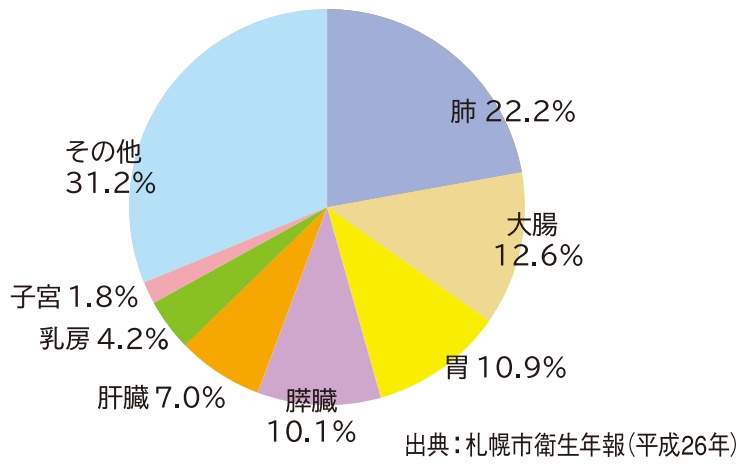
札幌市におけるがんによる死亡者数は、年々増加しています。



出典：札幌市衛生年報

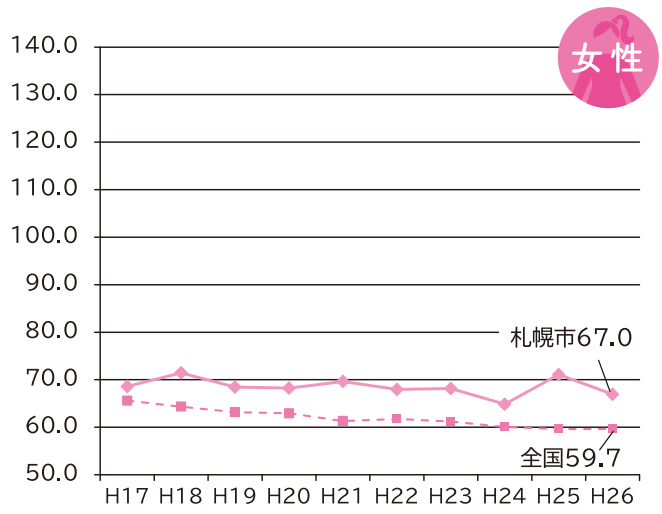
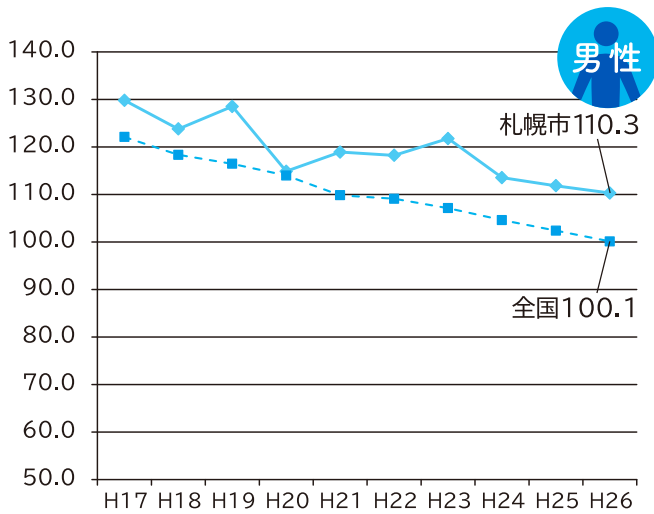
がんの部位別死亡割合

札幌市におけるがんの部位別死亡割合では、肺がんが22.2%と最も多く、次いで大腸がん、胃がんが多くなっています。



75歳未満がん年齢調整死亡率[※]の推移

男女ともに全国と比較して高くなっています。全国では男女ともに低下傾向にありますが、札幌市において、女性は横ばいまたは増加傾向にあります。

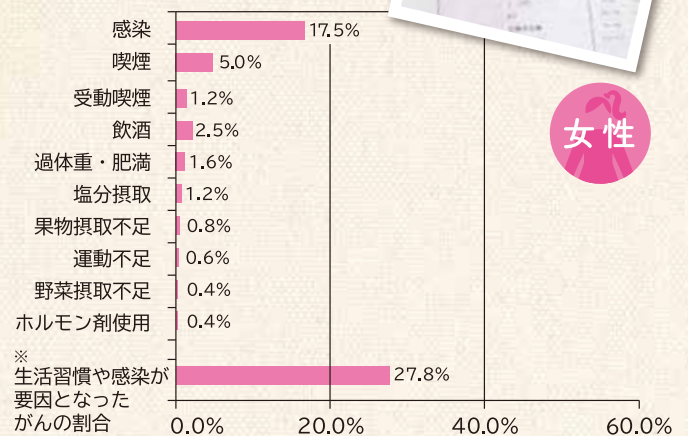
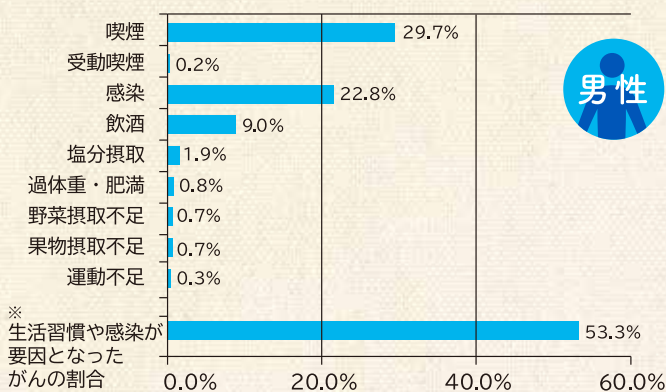


出典：札幌市衛生年報、がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

※75歳未満がん年齢調整死亡率：年齢構成の異なる地域間でもがんの死亡状況が比較できるように、年齢構成を調整し、地域比較や年次比較を可能にした死亡率（人口10万人あたりの数）。

日本人におけるがんの要因

男性のがんの53.3%、女性のがんの27.8%は感染や喫煙等の生活習慣が要因であり、多くのがんは予防できるとされています。



※他の項目の合計の数値ではなく、2つ以上の生活習慣が複合して原因となる「がんの罹患」も含めた数値。

出典：がん研究センター「科学的根拠に基づくがん予防」

計画の体系

基本方針

- ◎ がん患者を含めた市民の視点に立ったがん対策
- ◎ 重点施策を定めた総合的ながん対策

全体目標

◎ がんによる死亡者の減少

…平成35年の75歳未満年齢調整死亡率を、平成23年と比較して24.1%減らします。

	平成23年 (基準値)	平成26年	平成29年目標 「健康さっぽろ21(第二次)」	平成35年 (目標値)
75歳未満がん年齢調整死亡率	92.6	86.8	81.2	70.3
基準値からの減少率		▲6.3%	▲12.3%	▲24.1%



◎ すべてのがん患者とその家族等の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上

…がん患者のみならず、その家族等も含めて、体や心の苦しみをやわらげる緩和ケアの実施に向け、相談支援体制の充実やがん医療体制等の更なる充実に取り組みます。

◎ がんになっても安心して暮らせる社会の構築

…がん患者とその家族等を社会全体で支える取り組みを実施します。

分野別施策

- ◎ 「全体目標」を達成するために、5つの分野別施策に取り組みます。

重点施策

がん予防

早期発見・早期治療

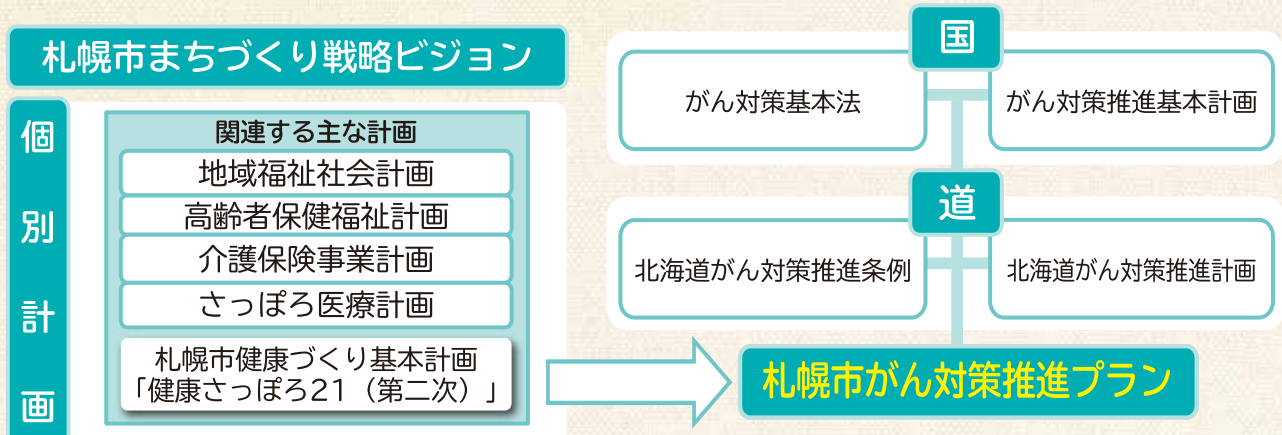
がん患者及びその家族等への支援

がんに関する正しい知識の普及啓発

がん教育

計画の位置づけ

本プランは札幌市のまちづくりの基本指針「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の個別計画である「健康さっぽろ21(第二次)」の実施計画と位置づけています。



分野別施策

重点施策：がん予防

避けられるがんを可能な限り防ぎ、がんに罹患する市民を減らすために「感染に起因するがんへの対策」「たばこ対策」「生活習慣の改善」に取り組みます。



主な取組

(1) 感染に起因するがんへの対策

これまで札幌市及び北海道が実施してきた検査・治療・予防等の取組に加えて、胃がんの発生要因の8割と言われているヘリコバクター・ピロリ除菌を積極的に推進します。

がんの種類(感染)	種別	取組	取組内容
胃がん (ヘリコバクター・ピロリ)	新規	胃がんリスク検査の導入とヘリコバクター・ピロリ除菌の推進	札幌市実施の健(検)診対象者に胃がんリスク検査を実施し、保険適用によるピロリ除菌を推進
肝細胞がん (肝炎ウイルス)	継続	B型肝炎ワクチン・肝炎ウイルス検査 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業	検査・治療・感染予防に向けた支援
子宮頸がん(HPV)	継続	HPVワクチン定期接種	定期接種(積極勧奨は控えている)
白血病・リンパ腫(HTLV-1)	継続	HTLV-1抗体検査	妊婦健診の検査項目

(2) たばこ対策

喫煙・受動喫煙は、肺がんをはじめとするがんにかかるリスクを高めます。また、札幌市は政令指定都市中、最も喫煙率が高いまちであることから対策が必要です。

種別	取組	取組内容
新規	子育て世帯の禁煙外来受診促進	禁煙外来の普及啓発のため、特に子育て世帯を対象として禁煙外来の受診を促進
	医師による問診時の禁煙アドバイス	がん検診問診時に医師による禁煙アドバイスを実施
	がん教育推進支援	教員向け研修・がん経験者と連携したがん教育の推進支援
	事業所等に向けた全面禁煙の推奨	がん予防の観点から事業所等に向け全面禁煙を推奨
レベルUP	母子保健事業における啓発の実施	既存の喫煙の害の普及啓発に禁煙外来受診推奨を追加
継続	受動喫煙防止対策を実施する施設の登録	禁煙・完全分煙施設登録

(3) 生活習慣の改善

「節酒」「食生活」「運動」「適正体重」に気を付けて生活を送る人はがんになるリスクが低くなるとされています。これらの改善に結びつく施策を行います。

種別	取組	取組内容
レベルUP	健康教育	習慣的な多量の飲酒とがん予防について専門職が健康教育を実施
	食生活改善推進員の活動	食のボランティアである食生活改善推進員が減塩等について普及啓発
継続	食生活指針の啓発事業	「札幌市食生活指針」の普及啓発

重点施策：早期発見・早期治療

多くのがんは早期の段階で治療すれば治る一方で、早期のがんは自覚症状がないため、発見するためには効果的ながん検診を受診する必要があります。がんによる死亡者を減らすため、早期発見・早期治療に向けた取組を行っていきます。

主な取組

(1) 早期発見の推進

がん検診受診の実態把握を行い、それを踏まえて企業等と連携したがん検診の必要性やがんに関する正しい知識の普及啓発、がん検診を受診しやすい環境整備の支援等を行います。

種別	取組	取組内容
新規	がん検診受診実態調査	正確な札幌市民のがん検診受診者数を調査・集計
	職域定期健診・がん検診同時実施促進	がん検診を未実施の事業所に対して、定期健診にがん検診を付加するよう働きかける
レベルUP	札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会	関係機関と連携し実行委員会方式で普及啓発を実施
継続	無料クーポン券事業	要件を満たす市民にがん検診無料クーポン券を送付

がん検診の受診意向、事業所における実施状況

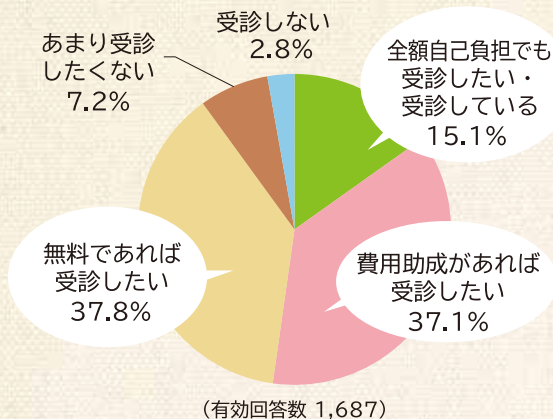
市民アンケートの結果によると9割の方ががん検診受診の意向を示しています。

一方、事業所アンケート結果からは、約4割の事業所が定期健診と合わせて

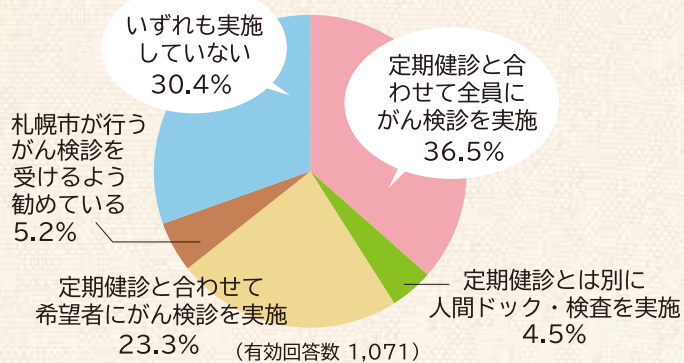
がん検診を実施している一方で、3割ががん検診を実施していないことがわかります。



がん検診の受診意向



事業所におけるがん検診の実施状況



出典：平成27年12月 市民／事業所向けがん対策アンケート

(2) 効果的ながん検診の実施

札幌市が実施するがん検診だけではなく、職域におけるがん検診も含めて、その実態把握、精密検査受診率の向上に向けた普及啓発等を行います。

種別	取組	取組内容
新規	要精密検査受診率向上対策	精検未受診者の正確な把握、受診勧奨等の実施
	職域がん検診の効果的な実施の推奨	事業所に対して国の策定するガイドラインに基づくがん検診の実施及び精度管理の実施を推奨
レベルUP	適切な精度管理の実施	精度管理のため検診実施機関にセミナー・講習会等を開催
継続	札幌市がん検診	国の指針に基づく胃・大腸・肺・子宮・乳がん検診を実施

重点施策：がん患者及びその家族等への支援

がん患者やその家族等が抱える身体的苦痛・精神心理的苦痛・社会的苦痛を軽減するために、相談支援体制の充実、働く世代のがん患者への支援、多様なニーズに対応したがん医療体制等の推進に取り組みます。

主な取組

(1) 相談支援体制の充実

市内8カ所のがん診療連携拠点病院に設置されているがん相談支援センター等の普及啓発や、がん患者団体等と連携したがん相談支援体制の整備に取り組みます。

種別	取組	取組内容
新規	ガイドブックの作成と活用	ガイドブックを作成し、各区、関係機関等に配架し周知
	がん患者団体等との連携による相談支援体制整備	市内のがん患者団体等と連携して、ピア・サポーター等を養成・活用し相談支援体制を整備

(2) 働く世代のがん患者への支援

働く世代のがん患者にとって必要な、がん治療と就労を両立できる職場の増加、治療後のがん患者の再就労に向けた支援を行っていきます。

種別	取組	取組内容
新規	事業所等との連携による総合的ながん対策の推進	がん検診の実施、がんの治療と職業生活が両立できる体制の整備やがん患者を積極的に雇用する企業等を認定する制度を導入

(3) 多様なニーズに対応したがん医療体制等の推進

がん診療に関する医療機関相互の連携を引き続き推進するとともに、がん患者が住み慣れた場所で療養できる環境整備、小児がん患者の治療にかかる医療費の支援等を継続して実施します。

種別	取組	取組内容
継続	市立札幌病院によるがん医療の実施	がん診療連携拠点病院の一つとして国の計画に基づくがん医療を実施
	高齢者等の在宅医療ネットワーク推進事業	在宅医療を担う人材の育成や市民等への普及啓発の実施
	介護サービスの提供	介護保険制度に基づき、介護が必要な被保険者へ訪問介護・訪問看護等の介護サービスを提供
	医療機関と介護事業所の連携促進	医療機関と介護事業所の連携を促進
	小児慢性特定疾病医療費支給事業	小児がん患者への医療費の支援

札幌市のがん検診
マスコットキャラクター
「けんしんけん」



裏表紙(7P)に
続きます!

■ がんに関する正しい知識の普及啓発

これまでの3つの重点施策を進めるうえでは、がん患者を含む市民の皆さんや、企業・関係団体等と連携・協力する必要があることから、より幅広い対象に向けて、がんに関する正しい知識の普及啓発を行っていきます。

取組(再掲)

種別	取組	取組内容
レベルUP	札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会	関係機関と連携し実行委員会方式で普及啓発を実施

■ がん教育

がんに関する正しい知識は国民が基礎的素養として身につけておくべきものとなりつつあります。国においてもがん教育の実施が検討されていることから、がんの専門家・経験者と連携したがん教育の推進支援に取り組めます。

取組(再掲)

種別	取組	取組内容
新規	がん教育推進支援	教員向け研修・がん経験者と連携したがん教育の推進支援

■ 計画の推進に向けて

